

びじゅつかん から やってきた

さわる

アートブック ②



しげ まつ

重松あゆみ (1958-) 《骨の耳 '92-11》

ほね みみ

ねん とう
1992年 陶

58.0×39.0×31.0 cm

あい ち けんとう じ びじゅつかん そう
愛知県陶磁美術館 蔵

植物の種のような形をした部分が二つに割れ、その横から一本の腕のようなものが曲がり方を変えながら上に向かっていきます。種のような部分は外側が青色で内側はやや薄い緑色で腕のような部分は青色から薄い緑色、そして黄緑色へ色がだんだんと変わっています。

Q ■ 作品のタイトルは《骨の耳 '92-11》ですが、
どうしてこんなタイトルにしたのでしょうか？
■ 作者は想像で耳の中の骨をつくって
みたのでしょうか。想像してみてください。

重松は 1990 年頃より《骨の耳》と名付けたシリーズを作り始めました。重松によれば、自分の骨が耳であるかのようにイメージして、土や、他のものの音に耳をすませて作ったのだそうです。この作品は、土で形を作った後にていねいに磨き、色を塗って焼いて完成させたものです。



なか むら まさ よし

ば ら

中村正義 (1924-1977) 《薔薇》

ねん しほんちゃくさい

1968年 紙本着彩 73.0×60.6cm

とよはし しびじゅつはくぶつかん そう

豊橋市美術館 蔵

なか むら まさ よし

はげ

とよはし

中村正義は自由で激しい作品をあらわした豊橋出身の日本画家です。その描き方も絵の具とボンドをミキサーでまぜ、輪郭を厚く盛り上げるという大胆なものでした。この作品は花びんにいけた真っ赤なバラを画面いっぱいに描いています。花びらはゆがんだ丸をいくつも重ねただけの形です。正義はバラを本物らしく描こうとしたのではなく、強いエネルギーにあふれた生命としてとらえたのです。

Q. バラは何輪ありますか？

葉っぱに囲まれたバラが5輪あります。まわりにはうず巻き模様が描かれています。その色は花の色と同じなので、バラの強い香りをあらわしているのかもしれません。

バラの部分 ▶





み ぎし こう た ろう うみ しゃ こう
三岸好太郎 (1903-1934) 《海と射光》

ねん ゆさい が ふ な ご や し びじゅつかん そう
1934年 油彩、画布 72.8×60.5 cm 名古屋市美術館 蔵

よく晴れた青空の下に砂浜^{すな はま}がひろがり、その先に少しだけ海が見えます。海は空よりもこい青色で、波もなく静かです。砂浜^{すな はま}にはいろいろな種類の貝がら^{がら}がころがっています。中央のシャコ貝は、からのふちが大きく波打っていて、内側のすべすべした面を上に向けています。その左下には扇形^{おうぎ}の貝があり、外側のごつごつした面を上にしています。右下には小さな角がたくさん付いたサザエが横たわっています。まるで貝たちが日向ぼっこをしているようです。

Q ■ 貝がらたちは、この後いったい
どうなるのでしょうか？

作者の三岸好太郎は、真ん中のシャコ貝を「のんびり貝」と呼びました。1934年の三岸は、海辺にころがる貝がらの絵と、海の上をとぶチョウの絵^{えが}をたくさん描いています。想像^{そうそう}がふくらむ「詩」のような絵を描きたいと思っていたそうです。

H. Mignisi



クロード・モネ (1840-1926)

《ラ・ジャポネーズ(着物をまとうカミーユ・モネ)》

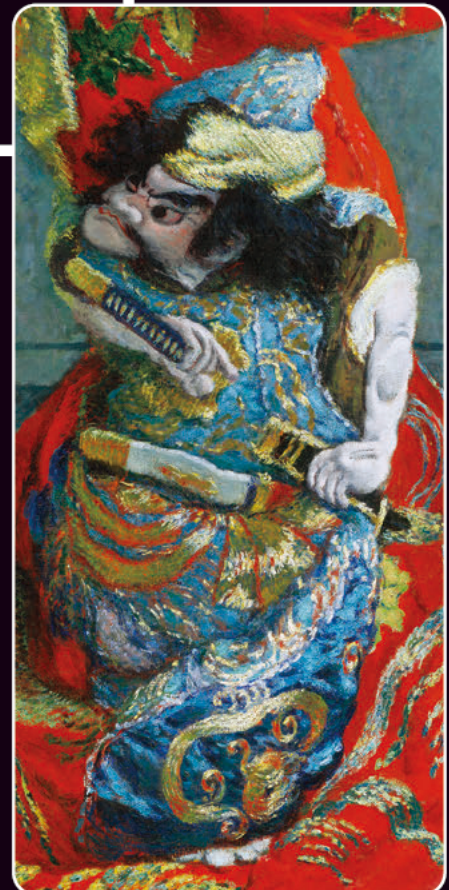
1876年 油彩・画布 231.8×142.3cm ポストン美術館 蔵

赤い着物を着た女性が画面中央に描かれています。厚手の着物は華奢な女性の体を包み込み、裾がゆったりと床に広がっています。体は右側を向いていますが、首をひねって顔だけ正面を向いています。彼女の名前はカミーユ・モネ。この絵を描いたクロード・モネの奥さんです。

Q ■ カミーユが来ている着物は、
どんな模様ですか。

ししゅう
刺繍の部分

着物には腰から脚元にかけて武者の刺繍が施されています。背景の壁には団扇が飾られています。フランスの画家、モネは日本愛好家でした。風景画家として有名なモネにとって、日本の小物を取り入れた人物画は大変珍しい作例です。





くま がい もり かず

熊谷守一 (1880-1977) 《たまご》

ねん ゆ さい い た
1959年 油彩、板 31.8×41.0cm 愛知県美術館 蔵

茶色の何もぼんない空間に、黒っぽくて丸
いお盆ぼんがあります。お盆ぼんには、白いたま
ごこが4個置かれています。お盆ぼんには縁が
あるぼんので、たまごはお盆ぼんから転がり出る
ことくまはありません。岐阜県に生まれた熊
谷守一がい もり かずは、日常的にちようてきで何気ないものなや事柄
に注目そんざいして、ものたしの存在を確かめるよう
に絵に描きました。

Q. たまごは、お盆ぼんに
どのように
置かれていますか。

お盆ぼんの縁に沿って、ひとつひとつ置か
れた3つのたまごは、たまごの細くなって
いるほうの部分かたむが、それぞれ横向き、下
向き、上向きに傾けひだりはしられています。あと1
つのたまごも、左端のたまごにくっついて
傾かたむいています。傾きを変えてみると、たま
ごにはこと少しずつ異なったかたちがあること
に気がつかされます。

あなたは、割わってすぐに食べてしまうた
まごのことを、こんなに考えたことがありますか。



み ぎ し せ つ こ
三岸節子 (1905-1999) 《鳥と琴を弾く埴輪》
ねん ゆ さい が ふ
1957年 油彩、画布 97.0×130.3cm 一宮市三岸節子記念美術館 蔵

お う ど
大地を思わせる黄土色を左に、茶色を
ぬ
右に塗り分けた画面に、土を焼いて作ら
れた埴輪が太く強い線で描かれています。

は に わ
中央には鳥の埴輪が、そのまわりに三体
は に わ え が
の埴輪が描かれ、右側の埴輪は下を向い
は に わ
て楽器を弾いています。左側の埴輪は手
の お ど
を伸ばし踊っているようです。左上の頭だ
けの埴輪は、目を閉じ何か考えているよう
です。

いちのみやし み ぎ し せ つ こ さい
一宮市出身の三岸節子は、16歳で画家
を目指し、94才で亡くなる直前まで絵を
え が
描き続けました。

は に わ ひ
Q ■ 右側の埴輪が弾いている
楽器は何だろう。

でんとう がっ き こと ひ
日本の伝統楽器である琴を弾いています。

せつ こ は に わ
節子は、日本古来の美しさを埴輪に見
そ ぼく え が
つけ、その素朴さや力強さを絵に描きま
した。



おぎ す たかのり

荻須高徳 (1901-1986) 《ヴェネツィア、カ・ダ・モスト》

ねん ゆさい が ふ

1980年 油彩、画布 114.0×162.0cm

いなざわしおぎすきねんびじゅつかん そろ
稲沢市荻須記念美術館 蔵

これはイタリアにあるヴェネツィアの街

並みを描いた作品です。中央にある4階

建ての、石造りの建物は、ダ・モスト家の

住宅でした。すぐ手前には大きな運河が

描かれ、まるで水の上に浮いているようで

す。雲の隙間からは青空が覗いています。

太陽の暖かな光を浴びて、建物のオレン

ジ色の壁は鮮やかに輝き、運河の緑がかっ

た水面はキラキラときらめいています。

稲沢市出身の画家、荻須高徳はヨーロッパ

パで50年以上風景を描きました。

Q. 建物の窓の形はどんな形？

四角や、丸、先の尖った形があります。

ヴェネツィアは土地が狭いため、建物を
上へ建て増しました。窓の形はその
時代に流行った形で飾り窓をつくりました。



アントワーヌ・ブールデル (1861-1929) 《弓をひくヘラクレス》

1909年 ねん ブロンズ 53.0×57.0×28.5 cm おかざき世界子ども美術博物館 蔵 ゆみ せかい こ びじゅつはくぶつかん せう

ヘラクレスが、岩場で弓を引いています。左足を前に伸ばして岩に掛け、腰とほぼ同じ高さまで開いています。右足は、膝をつき全身の体重を支えています。左手を真っ直ぐに伸ばして、身長と同じくらいの長さの弓を持ち、右手で力いっぱい弓を引いています。

人間や家畜に害を与える怪鳥のステインパリデスを退治するというギリシア神話に基づいた作品です。

Q. ブールデルとはどんな人？

フランスに生まれたブールデルは、1893年に19世紀を代表するフランスの彫刻家であり尊敬していたロダンの助手になりました。1909年のこの作品で、大好評を得、ロダンの後継者・改革者としての地位を確立しました。



表紙の作品

えいきゅう

瑛九 (1911–1960) 《黄色い花》

きいろ

はな

ねん ゆさい いた

1957–1958年 油彩、板 92.4×91.0cm

あいちけんびじゅつかんそう

愛知県美術館 蔵

えいきゅう ばんねん

うす

はいけい

この作品は、瑛九の晩年の作品で、薄い青色の背景に、黄色やオレンジ、水色などの様々な色と大きさの円が描かれています。円はギザギザしていて、また円の周りには、放射状に細かい線がひかれています。中央の縦に二つに並んだ大きな円は、黄色い花を表しています。

Q. 花はどんな様子でしょうか。

画面いっぱいに、大小の花が広がっています。黄色い花は、画面を真ん中から明るく照らしています。放射状の線は、花のいのちの揺らめきを表現しているようです。右上の黄色の楕円の中には暗い部分があって、花が萌え出る力とは反対のものを表現しているのかもしれませんが。

えいきゅう

みやざきけん

瑛九とはペンネームで、宮崎県生まれのアーティストです。

ゆさい はんが

ぎほう

油彩や版画、写真技法を用いて、もののかたちを、色や線やかたちだけで表す作品を多く残しました。